

## 手話に親しんでもらう機会を増やすための具体案について

### 案の方向性

手話はカワイイ！カッコイイ！と思ってもらうきっかけを作る

ターゲット：原則として未就学児、小学生、中学生、高校生。

### 1 手話推進のためのゆるきゃらマスコットを作成する（国内初！）

県内の高校生以下を対象にデザインを募集する。

最終デザイナーはろう者を雇用する。（公募）

### 2 県内既存のゆるキャラ全員に簡単な手話を覚えてもらう

（たのしい）（しゅわ）（ありがとう）など

ツイッターやフェイスブックで

動画でコミュニケーションをとれるようにする



ゆるキャラと一緒に手話教室：啓発効果

例）横浜市中区マスコットキャラクター:スインギー同伴の手話教室

既存のゆるキャラの活用：既存の広報媒体に付加価値をつける

例）**かながわキンタロウ**：県民局広報県民課

神奈川県を代表するマスコットとして手話は必須！知事と一緒に手話を勉強

**かにゃお**：県民局 NPO 協働推進課：NPO、企業の社会貢献活動にイイにゃ!している

手話のできるお店に”手話付き“のイイにゃ!シールはどうか

**かなふう**：保健福祉局健康増進課：食育マスコット

子どもたちの前に立つ機会が多いのでは？「おいしい」「ありがとう」の手話は大事



かながわキンタロウ



かにゃお



かなふう

など

### 3 神奈川県発の手話グッズを制作する

手話ノート、シール、カレンダーなど

（手話をしているゆるキャラつき）

学校名を指文字であらわしたタグ、カバンなど

例）イギリスのスクールバック

名前が指文字で印字されている（写真）



子供向けのあいさつ、指文字に絞った手話の教科書を作成する

例）イギリスの手話の教科書

ろう特別支援学校、県出身のろう者タレントに協力してもらう

### 4 神奈川県発手話アプリの開発

ゆるキャラ等を活かした手話学習アプリの開発

園内、校内の授業で活用できる

手話による（動く）案内看板

大学生との共同開発、既存企業との提携

